資料４

第１２回微量ＰＣＢ廃棄物処理事業に係る地域環境委員会議事要旨

１．日　時

平成 28 年 7 月 28 日（木）15:45～16:30

２．場　所

ホテルルートイン東京 東陽町　芙蓉の間

３．出席者

【委　員】　浦野委員長、竹内副委員長、綾部委員、榎本委員、風祭委員、木下委員、小安委員、関戸委員、細田委員、前川委員

【事務局】　東京電力フュエル＆パワー(株)　関口、小山
東京臨海リサイクルパワー(株)　影山、菅原、堂元

【傍聴者】　なし

４．議　事

微量ＰＣＢ汚染絶縁油の処理状況、環境モニタリング結果、安全対策の実施状況について報告・説明し、微量ＰＣＢ汚染絶縁油に係る事項については問題無く処理されている事を確認頂くとともに、災害未然防止の為の安全対策は今後も的確に実施し事業を進めて欲しい旨、委員の皆様よりご意見を頂いた。

主な質疑、意見は以下の通り。（「○」：委員、「□」：事務局）

（１） 微量ＰＣＢ汚染絶縁油の処理状況について

○平成 28 年度以降の東京電力分の残量と一般事業者分の処理計画はどのようになっているか。

□東京電力分は、当初処理予定７万ｔに対して、残り４万ｔ程度となっています。一般事業者分について、当社は 100ppm 以下の微量ＰＣＢ汚染絶縁油のみの処理の為、油のみ排出される事業者が少ない現状ですが、東京パワーテクノロジー㈱のワンストップサービスと協同して、今後も積極的に取り組んで行きます。

（２） 安全対策について

①打撲災害

○作業は何人で実施していたのか、作業内容によっては複数人でやった方が良いと考えるが。

□今回は、当直員の一人作業で発生した事象でした。
作業が発生した際は、当該班の当直長以下で危険予知活動を実施し、必要な人員を確保して実行に移すのが基本ルールであり再徹底しました。
○日常的に現場を見回った時に不具合があると手を出したくなるが、関係者に相談してから取組む作業とそうでない場合とを整理し徹底して貰いたい。
□作業内容の洗い出しを行い、当直員が実施する件と、習熟した作業員に委託する件と区分けし、併せて作業毎の危険性を洗い出し、現場に注意喚起の掲示を行って再発防止につなげたいと考えています。
②熱中症災害
○水分補給だけでなく塩分補給も必要で、作業場の身近な所に置くと良い。
□現場近くに仮設休憩所を設け、水分補給等も出来る環境を作っています。
○自己管理が大事だが、体調不良を言い出せる風通しの良い職場環境も大切ではないか。
□作業班長など上位職側からの歩み寄りが大切であり、こまめな気配り・声掛けを再徹底しました。
○救急車も直ぐに来てくれるとは限らない、未然に防ぐ事が大切である。
また、応急措置の対応について、関係者に徹底してほしい。

（３）その他
□次回の委員会開催については、１月下旬又は２月上旬頃を計画しております。
詳細な日程については、事務局より別途調整させて頂きます。

以　上